

やすらぎの村便り

訪問看護とは？

■団塊の世代が75歳以上となる2025年以降、高齢化のスピードはさらに加速されていきます。

■医療や介護のニーズは増大し、国は「治す医療」から「支える医療」へと転換を図っています。

■「病気や障害があっても我が家で暮らしたい」「人生の最後は自宅で迎えたい」と、望まれる方は多くいらつしやいます。しかし、独居であったり、医療処置が必要で家族だけで介護出来るかなど、不安に思われる方も多いことでしょう。

■そのような時は、訪問看護がお役に立てると思います。

訪問看護とは、看護師がご

利用になる方のご自宅を訪問し、主治医の指示で様々な医療・介護の専門職と連携しながら行う看護（療養上の世話や診療の補助）のことです。

病院や施設での看護とは違い、常にそばに居るわけではなく、直接的な医療処置以外にも、この先の変化を予測し、様々な職種の方と連携を図りながら支援を行います。

私達、やすらぎの村狭山訪問看護ステーションは、地域に密着し、「安心」「やすらぎ」を共に考えるステーションです。

24時間対応・精神疾患対

応（専門看護師在籍）・定期巡



回サービス（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）・ターミナルケア（お看取り）・作業療法士（OT）によるリハビリテーション・管理栄養士による栄養指導などを行っています。病院に居るような安心感と我が家に居る心地よさを感じて頂きながら、住み慣れた我が家での、その方らしい暮らしを支えるお手伝いをさせていただきます。

訪問看護をご利用にあたり、お困りのことがあれば、いつでもお気軽にご相談下さい。

やすらぎの村狭山訪問看護ステーション

管理者 船井 聖子